

## 「自分の性格が大嫌い！」

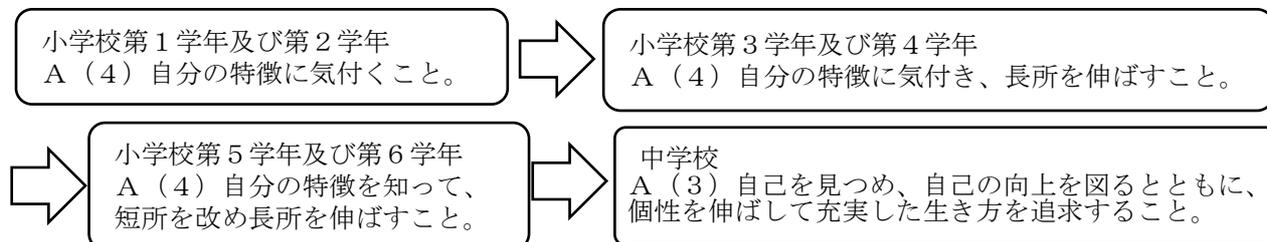
- 1 学年 第1学年
- 2 主題名 自分との付き合い方を考えよう【A（3）向上心、個性の伸長】
- 3 ねらい 「自分との付き合い方」を大切にしようとする作者の考えに共感し、自分の持っているよさや個性の発見に努め、それを肯定的に捉え、伸ばしていこうとする意欲を育てる。
- 4 教材名 「自分の性格が大嫌い！」（新しい道徳1 東京書籍）
- 5 主題設定の理由

## (1) 主題観・価値観

本主題は、中学校学習指導要領道徳編の中のA「主として自分自身に関する事」の中学校指導内容項目の中で、(3)「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。」を取り上げている。

「個性を伸ばす」とは、固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、より輝かせることである。しかし、中学生の段階では、他者との比較で自分を捉え、劣等感に思い悩んだり、他者と異なることへの不安から個性を伸ばすことに消極的になったりする。やがて自己理解が深まり、自己実現を模索するようになると、自分の姿を自らの基準に照らして考え、その至らなさに思い悩むことも少なくない。自分自身で嫌だと思っている所も、見方を変えて磨きをかけることで、輝く個性になり得ることを踏まえ、かけがえのない自己を肯定的に捉え（自己受容）、自己の優れている面などの発見に努め（自己理解）することが大切である。自分のよさは自分では分からないことが多いため、生徒相互の信頼関係を基盤として互いに指摘し合い、高め合う人間関係の構築が重要である。個性を伸ばしていくことは、他者との関わりの中で自分らしさを発揮し、自分自身が納得できる深い喜びを伴った意味ある人生を生きることである。

## ◇内容項目とその系統



## (2) 生徒観

本学級の生徒には、様々なことに積極的に取り組み、自分の思いを率直に伝えることができるよさをもった生徒がいる一方で、何事にも丁寧に取り組む、言葉の内容を丁寧を選びながら発言する生徒もいる。様々な性格やよさをもつ生徒がいるが、周りの目が気になり、そのよさを発揮できていない生徒も多い。また、自身を客観的に見る視点が不十分であるため、友達に声をかけるときに言い方がきつくなってしまったり、意図せず他の生徒を傷つけてしまうこともある。

上下中学校アンケート（1年生）の結果は下記のとおりである。

質問項目	とても そう思う	そう思う	肯定的 評価	あまり そう思わない	そう思わ ない
自分にはよいところがあると思う	37.5%	43.8%	81.3%	12.5%	6.3%
自分のよさは、まわりの人から認められていると思う	25.0%	43.8%	68.8%	31.3%	0.0%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	14.3%	7.1%	21.4%	71.4%	0.0%
自分と違う意見について考えるのは楽しい	6.7%	33.3%	40.1%	60.0%	0.0%
道徳の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている	20.0%	53.3%	73.3%	26.7%	0.0%
道徳の授業で勉強したことを、自分の生活に生かしている	13.3%	60.0%	73.3%	26.7%	0.0%

本学級の生徒には、積極的で発言が活発な生徒や慎重かつ丁寧に物事に取り組む、言葉の内容をよく考えて発言する生徒など、様々な個性を持つ生徒が存在する。一方で、他の人との違いに不安を感じ、

他者と自分との違いに悩んだり、考えの違いやすれ違いに戸惑ったりしている生徒も多い。アンケートの結果では、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。」の肯定的評価が 21.4%である。ここから、自分のよさを伸ばしたり、欠点を改善したりしようとする向上心が十分に発揮できていないことが考えられる。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」の肯定的評価が 40.1%である。このことから、他者と自分の考えを比較しながら聴く力が身に付いていないという実態があると考えられる。考えを比較する力が付いていないと、自分を見つめて長所や短所を自覚することも他者のよさを受容することも難しい。一方、「道徳の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」の肯定的評価が 73.3%であることから、生徒は授業内では他者と話し合うなどして自分と異なる意見を取り入れていると感じているが、ただ意見を交換しているなど、表面的な交流しかできていないと考えられる。

学級で事前にとったアンケートの結果は以下のとおりである。

質問項目	はい	いいえ
自分には長所やいいところがありますか。	84.2%	15.8%
どのようないいところがありますか	積極的に行動するところ 最後までやり切る 明るい おもしろい 計画性がある 何事にも挑戦する など	
自分には欠点や短所はありますか。	89.5%	10.5%
どのような欠点がありますか。	人見知り 自分からできない すぐ諦める 挑戦できていない 欲に負ける 自信がない 意見を言えない など	

アンケートの結果では、「自分には長所やいいところがありますか。」に「はい」と答えた生徒が 84.2%、「自分には欠点や短所はありますか。」に「はい」と答えた生徒が 89.5%である。多数の生徒が自分には長所やいいところがあると考えているが、欠点や短所があると考えている生徒の方が若干多くなっている。ここから、自分には長所がないが短所はあると考えている生徒が学級の中に存在していることが分かる。また、自分の短所を認識していないのは、自己を客観視できていないということも考えられる。自分の個性や自己との向き合い方を考える中で、自分の個性についての捉え方を見直すことができるようにしたい。そして客観的に自己をとらえる視点を身に付け、自他を大切にすることを身に付けさせたい。

### (3) 指導観

本教材は、短所も長所の裏側として自分の性格を捉えることで、自分を客観的に捉え、「自分との付き合い方」を大切にしようという筆者の考え方を通して、自分の個性との向き合い方について考えることができる話である。短所も長所も表裏一体であるという本教材の考え方を通して、自分を客観的に捉え直そうという意欲を高めていきたい。

- ① 導入では、漫画の台詞の分析やアンケート結果の分析を通して、欠点や短所が誰にでもあることを実感させて、自分事として考えられるように方向付けを図るとともに、自他の欠点や短所を受容できる空気を形成する。
- ② 展開前半では、筆者の考え方を自分に置き換えて考えることで、短所と向き合うことの難しさについて考えさせる。また、筆者の考えについて、「納得できる」「納得できない」「中間層」それぞれの立場の生徒の意見について出させることで、様々な考えの違いについて注目させ、多様な意見が存在するおもしろさに気付かせたい。また、事前に聞き出した短所を長所に置き換える活動を行うことで、自分の長所にも気付かせたり、他者から自分のよさを認めてもらった実感をもたせたりしたい。
- ③ 展開後半では、短所と向き合う難しさを踏まえた上で様々な個性をもつ人がいる意味や自分と向き合うことの必要性を考えることで、自分を受け入れた上で長所を伸ばしたり短所を改善しようとしたりする向上心の価値について気付かせる。また、対話を充実させるワードを活用してグループ協議を行うことで、自分と違う意見を取り入れながら考えを深めていくことのよさを涵養していく。グループ協議の際には意見を聴く姿勢や話し方、話す姿勢について確認し、互いの意見を受容できる場を確保する。
- ④ 終末では、価値実現の重要性と難しさについて再確認した後に、自身の振り返りにつなげることで、本主題の内容を現実の問題として考えさせたい。また、道徳振り返りシート「あ・や・め」(あ…新たな発見 や…やりとり め…目指す自の観点で学習を振り返らせる。観点到に沿って振り返ることで、授業からの学びを整理して、自分に置き換えて考えさせる。

## 6 人権教育との関わり

本主題では、「向上心、個性の伸長」について学習する中で、自己についての肯定的態度と、自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を高めることを大切にしている。なお、人権教育を通じて育てたい三つの側面のうち次の二つと関連を図る。

価値的・態度的側面	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の短所について受け入れて、自己を向上させようという意欲や態度</li> <li>自分と周囲の人との違いについて認めて、受け入れたら違いを生かしたりしようとする意識や態度</li> </ul>
技能的側面	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見を能動的に傾聴し、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技術</li> </ul>

## 7 準備物

教科書、発問短冊、モニター、クロムブック、ワークシート、振り返りシート

## 8 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き (○主な発問 ◎中心発問 ●補助発問 ・予想される生徒の心の動き)	・指導上の留意点 ◆支援が必要な生徒への対応 ☆評価の観点
導入 5分	1. 課題意識をもつ	<p>○「欠点なんて」の続きに来る言葉は何だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気にするな</li> <li>たくさんある</li> <li>人によって違う</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[アンケート項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分には長所やいいところがありますか</li> <li>どんな長所がありますか</li> <li>自分には欠点や短所がありますか</li> <li>どんな欠点がありますか</li> </ul> </div> <p>○自分の欠点や短所についてどう思っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>悩んでいる</li> <li>直したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漫画「聲の形」の一コマを「人それぞれ」を隠して提示することで、「欠点」という言葉の意味について興味をもたせる。</li> <li>アンケート結果を共有する。</li> <li>欠点、短所が誰にでもあることや、それを改善したいと思っていることを確認する。</li> <li>欠点や短所に悩んでいるのは自分だけではないことを理解させ、生徒が安心して学習に取り組めるようにする。</li> <li>「付き合う」という言葉の意味を確認する。</li> </ul>
「自分と付き合う」ために大切なことは何だろう			
展開 40分	2. 教材を読んで考える	<p>○作者は、短所や長所をどのように見ることが大切だといっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短所と長所は裏表の関係</li> <li>短所の裏の長所を見付けることで、短所も受け入れられる</li> </ul> <p>○作者の考えをどう思っていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>納得できる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>短所と長所が裏表という考え方をしたことがなかったから意識してみようと思った</li> <li>自分に当てはめたら確かにそうだと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作者の考えは短所を肯定的に捉える一つの視点であることを確認する一方で、簡単には受け入れられない弱さ、難しさがあることに気付かせる。</li> <li>「納得できる」と「納得できない」の座標軸を出し、自分の考えをネームプレートで貼らせることで、それぞれの立場を明確にするともに、中間層の意見を吸い出せるようにする。</li> <li>事前にワークシートに自分の意見と理由を書いて、意見を整理する時間を確保する。</li> </ul>

<p>3. 対話で考えを深める</p>	<p><b>納得できない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そう言われてもやっぱり短所は気になる</li> <li>・自分の短所を長所として考えられない</li> <li>・短所を意識するだけでイライラする</li> </ul> <p><b>中間層</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納得はできるけど、自分ではできる気がしない</li> <li>・言っていることがよくわからない</li> </ul> <p>○自分の短所を長所に置き換えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うるさい⇒人前で話せる</li> <li>・自分の言いたいことを言えない ⇒まわりを気遣える</li> <li>・おとなしい⇒やさしい</li> <li>・短気⇒熱意がある</li> </ul> <p>●班の人に自分の短所を長所に置き換えてもらおう。</p> <p>●短所を長所に置き換えるとどう感じましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を受け入れられるようになる</li> <li>・自分を客観的に見ることができるようになる</li> <li>・自分が活躍できる場所を見つけやすくなる</li> <li>・自分が他の人を見るときの見方も変わりそう</li> </ul> <p>◎「自分と付き合う」ために大切なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の活躍できる場所を見つける</li> <li>・自分を客観的に見る</li> <li>・自分の短所を長所に置き換える勇気をもつ</li> </ul> <p>○作者の考えに納得できますか。意見が変わった人は動かしてみよう。</p>	<div data-bbox="1077 257 1444 548" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎人権教育との関わり</p> <p><b>【価値的・態度的側面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の意見を否定せず受け入れようとする意欲や態度</li> </ul> <p><b>【指導上のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な受け取り方があって、置き換えた結論が様々にあることに気付かせる</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短所を長所に置き換えてもらってどのように感じたか共有し、短所を長所に置き換える意味合いを考えさせる。</li> <li>・班活動の前に個人思考の時間を確保する。</li> <li>◆短所が思いつかない生徒は、アンケートの結果を利用するように伝える</li> <li>・自分の長所を通して短所を見付け、自分を捉え直して向上させることもできることにも触れ、偏った見方にならないようにする。</li> <li>・自由に交流して、様々な意見を取り入れられるようにする。</li> <li>・対話を充実させるワードを活用するように意識させ、対話を通してより深い理由を引き出しあえるようにする。</li> <li>☆自分なりの考えを書くことができている。(ワークシート)</li> <li>・再考する場を設定し、自分の気持ちの変化や考えの深まりを感じられるようにする。</li> </ul>
---------------------	--	--

振り返り 5分	4. 本時の振り返り	<p>○今日の授業の振り返りをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は、授業の最初は、正直短所を受け入れると言われてもしんどいし大変だから嫌だな、と思っていました。しかし、今日の授業を通して自分をいい方向に変えるためにはどんな自分も受け入れることが必要なのだと気付きました。一気に難しいかも知れないけれど、今日から少しずつ自分の短所を長所と言えるように自分と向き合っていきます。</p> </div>	<p>三つの観点から振り返りをさせる あ：(新たな発見) 新たな疑問や気付いたこと や：(やりとり) 友達とのやりとりからわかったこと め：(目指す自分) これからの学習や生活に生かすこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> <p>◎人権教育との関わり 【価値的・態度的側面】 ・自己の捉え方や自分との向き合い方に関する考え方を深めたり向上させたりしようとする意識や態度 【指導上のポイント】 ・教材や周囲から得た考え方や知識によって考えをより強固なものにしたり、変化させたりすることで自分の生き方をよりよいものにできることに気付かせる。</p> </div> <p>◆すべて記入することが難しい生徒は、新たな発見の部分だけでも記入できるよう声かけをする。</p> <p>☆自分の長所や短所を受け入れ、自分を向上させていくことの大切さに気づき、これからの生き方につなげて考えている。(振り返りシート)</p>
------------	------------	---	--

## 9 板書計画

